

○ 施策評価シート（評価対象年度：平成23年度）

施策目標主管部課かい名	消防本部 消防総務課
評価シート作成者	課長 矢島 啓志

評価対象施策目標 (=課かい目標)	30 消防業務を円滑に実施するための体制を整備する
----------------------	---------------------------

1. 総合計画基本構想におけるまちづくりの目標体系での位置づけ

①基本理念	3 安全でやすらぎのある 持続可能な 暮らしづくり
②政策目標	9 生命や財産が守られるまち
③施策目標	30 消防業務を円滑に実施するための体制を整備する
④施策の方向性	1 組織の効率化と職場環境の整備 2 消防業務への理解と協力 3 消防職員の能力向上

2. 施策目標の達成方針

消防・救急・救助活動を確実に実施できる環境づくりを計画的に推進するため、次の内容を実施します。
1 署所、人員及び車両等の整備 消防力の整備指針をふまえ、地域の実情に即した消防体制を構築するため、限られた人員・資機材・車両を有効に活用し、効果的な災害活動を行える体制を整備します。
2 人材育成 消防職務の遂行に必要な専門教育を充実させ、消防の任務を自覚しその能力を十分に発揮できる人材を育成します。
3 市民に対する防災意識の啓発 消防フェスティバルの開催をとおして、市民の防火、防災意識の向上を図り、火災などの災害を抑制します。
4 事務事業の総合調整 消防本部・消防署の庶務担当課として、部内各課と情報を共有し、事務事業の総合調整や重点事業などの進行管理に努めます。

3. 職員配置の状況

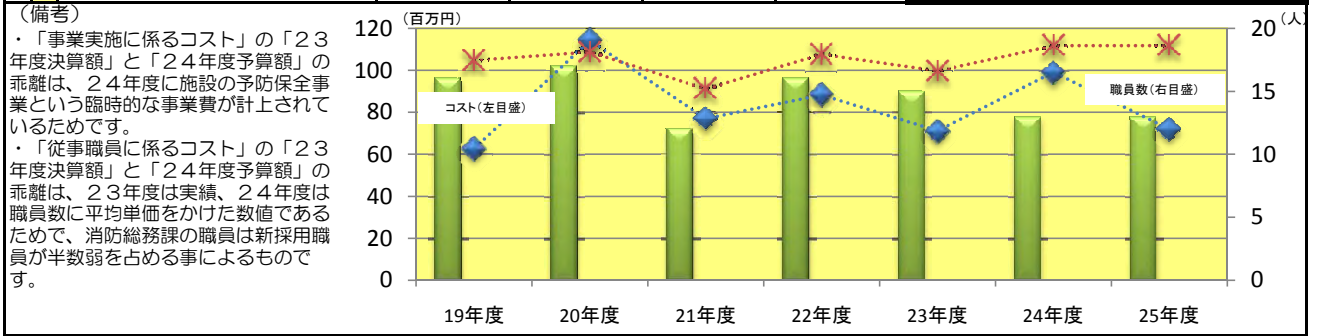
(24年3月31日現在)

No.	担当	職名	在課年数	No.	担当	職名	在課年数
1	-	次長兼課長	1 年 月	16			年 月
2	総務担当	主幹	4 年 月	17			年 月
3	総務担当	主査	2 年 月	18			年 月
4	総務担当	主事	1 年 月	19			年 月
5	企画担当	課長補佐	2 年 月	20			年 月
6	企画担当	副主査	1 年 月	21			年 月
7	企画担当	主任	年 3 月	22			年 月
8	日本消防協会派遣	課長補佐	2 年 月	23			年 月
9	県消防学校教官派遣	主査	1 年 月	24			年 月
10	消防学校初任教育生	主事	1 年 月	25			年 月
11	消防学校初任教育生	主事	1 年 月	26			年 月
12	消防学校初任教育生	主事	1 年 月	27			年 月
13	消防学校初任教育生	主事	1 年 月	28			年 月
14	消防学校初任教育生	主事	1 年 月	29			年 月
15	消防学校初任教育生	主事	1 年 月	30			年 月
職員数計 15 名 (うち常勤 15 名・再任用 0 名) 外 非常勤嘱託 0 名・臨時 0 名・その他 0 名)							

4. 施策推進コスト

(単位：事業、職員1人 千円/職員数 人)

一般会計	19年度 決算額	20年度 決算額	21年度 決算額	22年度 決算額	23年度 決算額	24年度 予算額	25年度 計画額
施策推進コスト a=b+c	167,446	222,860	168,226	196,062	170,801	210,809	183,746
財源内訳							
特定国庫支出金			942	19,500			
地方債							
その他	2,103	11,080	9,238	1,698	9,724	1,495	1,423
一般財源	165,343	211,780	158,046	174,864	161,077	209,314	182,323
事業実施に係るコスト b (折れ線グラフ)	62,652	114,175	77,031	88,315	71,118	99,009	71,946
うち委託料	14,458	11,902	11,655	12,829	10,932	11,594	15,810
従事職員に係るコスト c (折れ線グラフ)	104,794	108,685	91,195	107,747	99,683	111,800	111,800
常勤職員数 (棒グラフ左)	16	17	12	16	15	13	13
再任用職員数 (棒グラフ中)	0	0	0	0	0	0	0
非常勤・臨時等職員数 (棒グラフ右)	0	0	0	0	0	0	0



5. 施策目標の達成状況

No.	指標名	単位	目標値	実績値	進捗率	平成21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	指標算出式・定義等					—	—	—	—	目標値
						現状値	実績値	実績値	見込値	目標値
						—	—	進捗率	進捗率	100%
1	消防力の整備率	%	—	—	—	—	—	—	—	100
	消防署・所数と消防車両数の		100	100	100	100	100	100	100	100
	消防力の整備指針との比較		—	—	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(関連指標(消防署・所数)の他団体比較)(出所)消防現勢(全国消防長会)

団体名\年度	平成18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
●茅ヶ崎市	6	6	6	6	6	6
■藤沢市	14	14	14	14	14	14
▲平塚市	8	8	8	8	8	8
◆鎌倉市	8	9	9	9	9	10
*大和市	5	5	5	5	5	5

(関連指標の進捗状況分析)

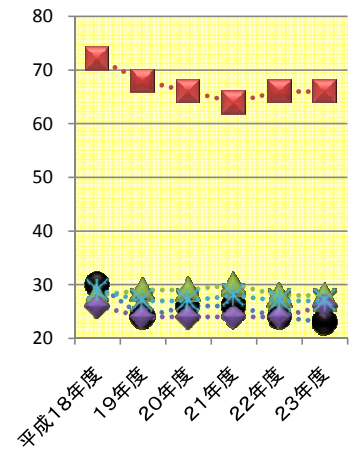
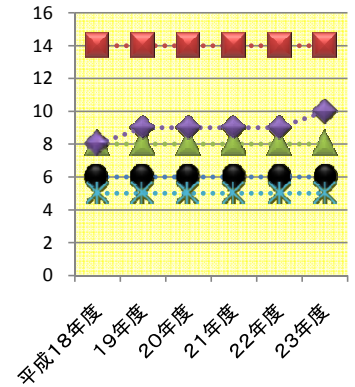
この関連指標は消防力の整備指針の中でも消防力を構成する要素として大きな位置を占める消防署・所数を計っています。消防力の整備指針において消防署・所の基準数は人口を基に算出され、その充足率は平成18年度から23年度まで100%を維持しています。

(関連指標(消防車両等数)の他団体比較)(出所)消防現勢(全国消防長会)

団体名\年度	平成18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
●茅ヶ崎市	30	24	26	26	24	23
■藤沢市	72	68	66	64	66	66
▲平塚市	28	29	29	30	28	28
◆鎌倉市	26	24	24	24	24	26
*大和市	29	27	27	28	27	27

(関連指標の進捗状況分析)

この関連指標は消防力の整備指針の中でも消防力を構成する要素として大きな位置を占める消防車両数を計っています。ここで示しました数値は他団体と比較するため消防現勢に掲載されている消防で保有している車両数を引用していますが、消防力の整備指針においてはポンプ車・はしご車や救急車などの台数が基準とされ、その基準数は人口や高さ1.5m以上の建築物数などを基に算出されています。茅ヶ崎市の基準数は19台でその充足率は平成18年度から23年度まで100%を維持しています。



6. 施策目標達成のため重点的に取り組む事務事業の状況

(単位：事業費 千円)

No.	事業名(会計区分)	指標名	平成21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
事業概要		事業費	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
		目標値	—	—	目標値	目標値	目標値
		実績値	現状値	実績値	実績値	—	—
		達成率	—	—	達成率	—	—
1	消防の広域化の検討(一般会計)	事業の進捗状況	決	決	決	予	計
「茅ヶ崎市と寒川町における消防指令業務の共同運用に関する覚書」(平成24年3月)に基づき、茅ヶ崎市・寒川町消防指令業務共同運用検討委員会を設置し協議・検討します。			—	—	広域化の検討	広域化の検討	広域化の検討
「湘南東部における消防の広域連携施策についての覚書」(平成24年2月)に基づき、広域連携施策の具体的な取り組みについて検討し、広域連携施策を実施します。			—	—	広域化の検討	—	—
			—	—	達成	—	—
2	消防職員のストレスケア対策(一般会計)	面談・研修の回数	決	決	決	予	計
メンタルヘルスに関する職員研修を実施します。			120	770	910	750	600
専門家の面談等の相談体制や、職員によるメンタル不調者の支援及び復職支援を充実させます。			—	—	30	25	20
			—	—	30	—	—
			—	—	100%	—	—
3	消防フェスティバル実施事業(一般会計)	消防フェスティバル実施回数	決	決	決	予	計
消防とのふれあいをとおして消防活動に対する理解を深めてもらうとともに、消防活動の体験を通じて防災・防火意識の向上を図ります。			1,255	808	689	768	768
			—	—	1	1	1
			—	—	1	—	—
			—	—	100%	—	—
4	消防職員人事管理事業(一般会計)	採用者数	決	決	決	予	計
多様化する市民ニーズに的確に対応できる人材の確保及び育成を行います。			3,796	5,064	4,196	4,430	4,430
			—	—	5	4	5
			—	—	5	—	—
			—	—	100%	—	—
5	消防訓練施設整備事業(一般会計)	事業の進捗状況	決	決	決	予	計
平成22年度に移設した消防訓練施設の敷地は他の公共事業用地となっているため移設の必要があることから、関係課と連携して移設先を調整します。			0	4,470	5,960	6,099	9,960
			—	—	建設用地の調整	建設用地の調整	移転整備
			—	移転整備	維持管理	—	—
			—	—	達成	—	—

7. 施策目標達成に向けた取り組みの評価

①施策目標達成に向けた指標の進捗状況	□ 達成	■ 順調	□ 遅れている	□ 大きく遅れている
			25年度目標値達成可能	25年度目標値達成困難
②これまでの取り組みと成果	<p>消防救急無線のデジタル化や消防通信指令システムを更新するため、費用対効果の高い手法の一つとして、平成23年度末から寒川町との消防指令業務の共同運用に関する調査・協議を進めています。</p> <p>また、国より示された消防の広域化に関する基本指針に基づき、近隣市町とともに広域化に関する研究・協議を進めてきましたが課題の解決、懸案事項の払拭までは到らず、将来的な消防の広域化の検討を継続することを関係市町と確認しました。</p> <p>職員のメンタル面のストレスケアを行うため、平成22年度に所属を横断した世代毎の職員から構成するメンタルサポートチームを立ち上げ、メンタルサポートチームを対象とした研修を16回、職員を対象とした研修や面談を9回、平成23年度には、研修会等を30回実施しています。また、東日本大震災に緊急消防援助隊として出動した隊員についても、面談を実施しています。</p> <p>市民の皆さんに消防活動に対する理解を深めてもらう事や防災・防火意識を向上してもらう事を目標に、平成20年度より消防フェスティバルを開催しています。</p> <p>消防職員の採用試験に伴い、インターンシップを実施するとともに県内の各大学に個別説明を行い優秀な人材確保に努め、21年度は11人、22年度は5人及び23年度は5人採用いたしました。</p> <p>市役所本庁舎整備の関連で、もともと市役所西側駐車場に整備していた消防訓練施設を茅ヶ崎三丁目にある茅ヶ崎市資源物選別処理施設敷地に平成22年度移転しました。</p>			
③課題認識と解決への方策	<p>寒川町との消防指令業務の共同運用に関してメリット・デメリットを詳細に洗い出し、将来にわたり整備・運用において不具合が生じることなく経費縮減効果が最大となるように努めます。</p> <p>また、湘南東部地区(藤沢市・鎌倉市・茅ヶ崎市・寒川町)の消防の広域化の検討については、広域化と同等の効果が期待出来る広域連携施策の実施に向けた具体的な検討を行います。</p> <p>消防職員については、24時間サイクルの特殊な勤務形態と併せ、交通事故等悲惨な災害現場に数多く出動することから、ストレスを受けることが多いため、今後もメンタルサポートチームの研修を継続し、身近な職員によって日頃からのメンタルサポートを行うことにより、心身が疲労している職員を把握し相談できる仕組みづくりや復職支援などを行います。</p> <p>消防フェスティバルはお子さんを中心に好評を頂いておりますが、その実施に際しかなりの人件費を投入している事も事実です。業務委託活用を検討などにより、市民の皆さんに消防活動に対する理解を深めてもらう事や防災・防火意識を向上してもらうという目標を念頭に、効果は現状以上で経費は低廉になるよう事業を進めていきます。</p> <p>消防職員の採用試験に伴いインターンシップの実施や各大学の個別説明を継続し人材確保に努めるとともに救急救命士の有資格者等の人材確保の調査・検討を行います。</p> <p>消防訓練施設に関して、平成22年度に移転整備しましたが、移転先の敷地は他の公共事業用地として将来的に活用する事が見込まれています。その事業の進捗状況を踏まえ移転整備先の調査・検討・調整を進めます。</p>			
④議会等からの指摘・要望事項	<ul style="list-style-type: none"> ・消防フェスティバル開催事業費について(平成23年第3回定例会) ・消防職員のストレスケア対策について(平成23年第1回定例会) ・新庁舎への消防防災拠点導入について(平成22年第3回定例会) ・消防訓練施設について(平成22年第2回定例会) ・メンタルヘルスケアについて(平成22年第1回定例会) ・消防フェスティバルについて(平成22年第1回定例会) 			

8. 施策目標達成を目指して実施する事務事業

(単位:千円)

合計(ア) = (イ) + (ウ)

77,031 88,315 71,118 99,009 71,946

No.	会計区分	施策の方向性番号	事業名	24年度業務計画	平成21年度 決算額	22年度 決算額	23年度 決算額	24年度 予算額	25年度 計画額
1	一般会計	2	消防出初式の実施		212	223	225	232	232
2	一般会計	1	消防職員のストレスケア対策	重点事業	120	770	910	750	600
3	一般会計	1	消防職員の健康管理事業		6,252	6,146	6,439	6,938	6,930
4	一般会計	1	消防職員人事管理事業	重点事業	3,794	5,246	4,197	4,430	4,430
5	一般会計	3	消防職員研修事業		3,325	4,989	3,461	3,426	3,046
6	一般会計	1	消防業務管理事務		1,056	1,041	1,052	1,131	1,348
7	一般会計	1	消防用財産の管理		38,745	46,822	30,592	55,813	25,650
8	一般会計	3	消防訓練施設整備事業	重点事業	0	4,471	5,960	6,099	9,960
9	一般会計	1	消防職員に対する被服貸与		19,266	15,831	15,130	17,223	17,224
10	一般会計	1	消防の広域化の検討	重点事業	0	0	0	0	0
11	一般会計	2	消防フェスティバル実施事業		1,255	807	689	768	768
12	一般会計	0	災害応急対策活動		0	0	283	442	0
13	一般会計	0	庁内共通事務		3,006	1,969	2,180	1,757	1,758
14	一般会計	0	部内調整事務		0	0	0	0	0
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
36									
37									
38									
39									
40									
41									
42									
43									
44									
45									
46									
47									
48									
			振り分け不能額						
			小計(イ)		77,031	88,315	71,118	99,009	71,946

No.	会計区分	第5次実施計画期間中に実施し、終了した事業名	平成21年度 決算額	22年度 決算額	23年度 決算額	24年度 予算額	25年度 計画額
1					—	—	—
2					—	—	—
3					—	—	—
4					—	—	—
5					—	—	—
6					—	—	—
7					—	—	—
8					—	—	—
9					—	—	—
10					—	—	—
11					—	—	—
12					—	—	—
13					—	—	—
14					—	—	—
15					—	—	—
		小計(ウ)	0	0	—	—	—

(備考)